

第 10 回 教育委員会 会議録

- 1 開催日時 令和 5 年 1 0 月 2 3 日 (月) 午前 9 時 5 5 分
- 2 開催場所 大町市役所 東中会議室
- 3 出席委員 教 育 長 中 村 一 郎
同 職 務 代 理 者 中 山 晴 隆
委 員 下 川 清 志
委 員 森 し の ぶ
委 員 北 澤 明 美
- 4 説明のため出席した者
教 育 次 長 太 田 三 博
学 校 教 育 課 長 平 林 政 規
生 涯 学 習 課 長 藤 卷 孝 之
ス ポ ー ツ 課 長 松 下 明 夫
山 岳 博 物 館 館 長 清 水 博 文
国 民 ス ポ ー ツ 大 会 準 備 室 長 牛 越 秀 仁
学 校 教 育 指 導 主 事 吉 澤 清
学 校 教 育 指 導 主 事 山 岸 澄 雄
学 校 教 育 課 学 校 再 編 係 長 渡 邊 哲 也
- 5 事務局 学校教育課庶務係長 平 林 晃
- 6 傍聴者 2 名

中村教育長：今日の出席予定の方、全員お揃いになりましたので、これより第10回教育委員会を始めたいと思います。よろしくお願いいたします。

前回の会議録をまわしておりますので、内容のご承認をお願いいたします。

それでは、教育長報告に入る前に、10月の人事異動で教育委員会にお越しいただきました、学校再編係の渡邊係長です。自己紹介をお願いします。

渡邊学校再編係長：自己紹介

中村教育長：それでは、教育長報告を行います。

中村教育長：教育長報告 資料により説明

中村教育長：以上、教育長報告であります。皆さんの方から何か質問等ございますか。

よろしいでしょうか。ありがとうございました。

それでは次に議事ということになっておりますが、この議事につきましては、教育委員会事務局職員の懲戒処分についてという内容になりますので、最後に、関係者だけでご協議いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは5番目の協議事項の方に移って参りたいと思います。

最初に小学校の再編についてということで、事務局説明をお願いします。

渡邊学校再編係長：新小学校の校名候補の選定について、資料により説明

中村教育長：前回の教育委員会においても校名の候補についてはお示しをしております。まず、これまでの候補選定に係る経過等について、確認したいこと等、ありましたらお願いします。よろしいでしょうか。

特になければ、3つの候補が出ておりますので、この3つの中からどれが一番ふさわしいかということで、委員の皆様のご意見を伺いながら決定して参りたいと思います。

ご意見がありましたらお願いしたいかなと思います。

下川教育委員：今回、校名募集に対して、市民の皆さんから新しい小学校への様々な思いが込められた学校名をご提案いただいております。

再編準備委員会の方で、それぞれ3候補に絞っていただきましたが、私は『大町北部小学校』、『大町南部小学校』がいいのではないかなと思います。

その理由として、「誰もがわかりやすくシンプルで読みやすい」といったところを私は思いました。

それから、中学校が大町中学校ということで、中学校との繋がりも、いいのではないかなと思いました。以上です。

中村教育緒：それでは一人一人からよろしいでしょうか。

北澤教育委員：私は第3候補の『アルプス北小学校』、『アルプス南小学校』が良いなと思っておりまして、理由として感覚的な問題なのですが、濁音がつくのが個人的にはあまり好きではなく、もう少し軽く明るい雰囲気が欲しいなということと、その方が、今までと全く違った新しいそれぞれの小学校という感じで、いいのではないかと思いました。

森教育委員：子ども達への願いや大町市が発展していくことを期待して、それぞれに思いを込められた校名が上がってきているなということをおもいました。

私は、「アルプス北小学校」、「アルプス南小学校」というのは、北アルプスもあれば、中央アルプスもあって南アルプスもあるので、個人的にはちょっとピンとこないかなと感じております。

また、「北部小学校」、「南部小学校」というのが長野県内にどれだけあるのか分かりませんし、全国的にもどれくらいあるのか分かりませんが、それをより丁寧にした校名が『大町北部小学校』、『大町南部小学校』かなというように思います。

こちらの方は誰でもわかる校名で、シンプルで誰もがわかりやすくいいと思います。

中山教育長職務代理者：大町中が結局単純な名前になってしまったので、もう少し常盤とか社とか、地域の人にもわかる地名を入れた方がいいのではないかと地域の方にだいぶ言われましたけれども、私個人としては候補1と候補3でちょっと迷いました。

最終的には『大町北部小学校』、『大町南部小学校』が、この中では、順当かなというふうには思っています。

「アルプス」とちょっと迷ったのは、子供的には「アルプス北」とか「アルプス南」というのもあり得るのかなとも思ったのですが、森委員さんが言われたように、ここだけにあると思えるほうがいいかなというところもあったり、南アルプス市など、いろいろなところとの関係とかも含めるとやはり「大町」という名前を出した方が良かったかなと思えました。

中村教育長：私自身の意見なのですが、結論的に言えば、『大町北部小学校』、『大町南部小学校』が、適切ではないかなというふうに考えました。

再編委員会の時に、保護者の方から、どこにその学校があるのかということが、校名を聞いただけで、ピンとくるようなところが、やはり、説明するのにも、とてもわかりやすくいいというお話もありました。

そう考えたときに、二つの小学校が、大町の北部と南部に位置しており、そこに「大町」がつくことで、よりその学校の存在というのがとても明らかになりやすいということから、この候補1の校名がいいのかなというふうに私自身は考えました。

今、それぞれの委員の皆さんからご意見をいただきまして、候補1がいいのではないかという意見が多いという形にはなっておりますがいかがでしょうか。

北澤委員、よろしいですか。

北澤教育委員：皆さん、そちらがいいということですので、もちろん結構です。

中村教育長：それでは委員の皆様の意見が、多かったこの第1候補の大町・平地区が『大町市立大町北部小学校』、常盤・社地区が『大町市立大町南部小学校』ということで、意見が一致したということですのでよろしいでしょうか。

中村教育長：では、これにつきましてはこの26日に行われます総合教育会議にお諮りしてまいりたいと思います。ありがとうございました。

それでは、再編についてですが、次、お願いします。

平林学校教育課長：大町・平地区小学校の施設整備について 資料により説明

中村教育長：大町・平地区の小学校施設の整備について、ご意見の方、お伺いしたいと思います。

森教育委員：グラウンドのトラックが小さいように感じるが、小学校のトラックの基準というのはなにかあるのでしょうか。

平林学校教育課長：設計業者に確認したところ、特に定めがないということでありました。

今回は取れるだけの長さを取って120メートルということですが、プール等が今後どうなるかにより変更となります。

下川教育委員：グラウンドについて先生方、学校の方から要望がありましたか。

平林学校教育課長：資料2の62・63で要望をいただいております。

下川教育委員：校務等調整委員会で、技術提案書を皆さんにオープンにして、意見を9月末までに出してくださいという依頼を出したということを経験して、それをまとめたのがこの資料だということに理解しました。

この内容の扱いは、今後どうなるのでしょうか。

平林学校教育課長：こちらの内容は1個1個事務局において学校設置基準等において、どのような形になるかというようなことを検討することとなっています。

あと、できる可能性がある項目に関しては、技術的な部分もありますので、設計業者と相談していくことになります。

下川教育委員：スケジュールについて、うまくまとめていただいておりますが、結構タイトだ**と思います**。当初の予定では、契約締結を6月中旬だったと思いますが、それが10月末ということは、かなり**検討**期間が短くなっているというふうに思うので、先生方からの要望等について、事務局での検討をはぶいて、設計業者へ**直接**検討を依頼するくらいしないと、間に合わないのではないのでしょうか。

平林学校教育課長：委員がおっしゃる通り非常にタイトなスケジュールとなっておりますが、実は本日お示ししてないですが、事務局案としてまとめはしてあります。

下川教育委員：再編準備委員会の中で、この基本設計の技術提案書については、先生方のご意見をいただいて、設計業者とやりとりをし、その内容をこの準備委員会に報告しますという話をされていたので、それをどういうタイミングでやるのか、或いは、その再編準備委員会の委員からも、先生方と違った視点で意見が出た時にどうするかが心配であるので、その辺をどうするのかということ、スケジュールの中で教えていただければと思います。

平林学校教育課長：再編準備委員会ですが、次回の開催予定は1月ということで皆様にお知らせしておりますが、今回の改修につきましては、流れ的には11月上旬に、校務等調整委員会におきまして、先ほどの意見を踏まえた形での基本計画の図面をお示しし、そこで、さらに、何か意見があればいただいて、微修正程度になるかと思うのですが修正をして、基本設計を確定させるというように、事務局は考えております。

したがって、再編準備委員会に基本設計はこうなりましたというお諮りはせず、校務等調整委員会で協議いただくことになります。

下川教育委員：議会において議員さんからの質問に対する答え等を確認すると、学校関係者や保護者の皆さんの意見も踏まえていくというような回答していると思っております。パ

ブコメで市民の皆さんからの意見を伺うというのは、そこまではしなくていいという話でしたので、保護者の皆さんの意見は、どこで吸い上げるのかといたら、私は再編準備委員会での委員の意見を聞くというのが一つの市民の皆さんの意見を聞いたということになるのではないかと考えております。

今、このスケジュールでいくとその辺のやりとりが、なされないので、それでいいのかなと感じております。

しかしながら、もう1月に準備委員会を開くということで、委員の皆さんにはお知らせしてあるかと思しますので、**委員会前**に書類を送って情報提供をし、それに対して意見あればというような機会を設けることができないかと思いますが、その辺はどうでしょうか。

平林学校教育課長：以前の定例会において、保護者等の意見について、そこまでやってしまうと収拾がつかなくなるので、校務等調整委員会等での意見でということでご理解をいただいたと理解しております。

今、下川委員がおっしゃる保護者の意見等につきましては、再編ニュース等でこんな整備を進めて参りますということでお示しをしていかなければならないと考えております。

何か示していかなければならない部分はきちっと示し、あとは意見のある方は教育委員会に直接いただくという形で考えております。

中村教育長：この件につきましては、これから再編ニュースとうにおいて周知していくこととなりますので、ご理解いただければと思います。

下川教育委員：再編ニュースを出すときには、再編準備委員会の皆さんには、事前に出しますということは知らせておいて欲しいです。

中山教育長職務代理者：全体の意見としては先程の課長の発言でいいかと思いますが、学校から出されているこの78の意見は非常に大事であり、ぜひ取り入れて欲しいなと私個人としては思っておりますが、ただ、これだけ全部を考慮すると設計が難しいなというのはあるのかなと思います。

要望はできるだけ設計図に落ちるように、タイトなスケジュールの中ですが、よろしくお願ひしたいと思ひます。

北澤教育委員：基本設計が出来てからプールについて検討というのは、順番が大丈夫なのでしょうか。

平林学校教育課長：プールも同時で進めていくのがいいのか事務局で検討しております。プールにつきましては、現時点では建設ということで進んでいます。また、その時期でのプールに関しての決定でも、大きな変更でなく対応できると業者とも話しておりますので、大丈夫かと思えます。

現在、実施計画のヒアリングが進んでおりますが、次年度予算のヒアリングでは現時点ではプールを含めた工事費で次年度実施計画ということで、進めております。

下川教育委員：要望について、できない場合、その理由を明確にして、市民の皆さんや保護者の皆さん、議会にも説明していければいいなと考えております。

平林学校教育課長：「常盤・社地区小学校の施設整備について」資料により説明

中村養育長：新しい常盤・社地区の小学校の改修について説明していただきましたが、何かございますか。

中山教育長職務代理者：新しい設計プランで進めていただければと思っております。

令和8年度に開校するときには多少でも、新築しているところを見ていただきたい。

仮設校舎の位置ですが、特別支援の子たちが入るという予定のようですが、特別支援のクラスはいろいろなお子さんがいるので、体育館に行かれる子供たちや、それから低学年とか移った子供たちとか、いろいろ子供たちが、行き来するところの近くに特別支援棟があったりして、ちょっと位置的な場所としては心配もあるかなと感じております。

下川教育委員：ベースの部分として、事業者に入って、いろいろなコンセプトづくりをする段階を南部の小学校も、作った方がいいのではないかなと思うのですが。

平林学校教育課長：令和6年度の実施設計業務の中で、基本的な部分と詳細な部分など、二段階に分けているわけですが、その基本的な部分で校務等調整委員会等に設計業者が会議出席或いは情報収集をしていただきながら設計をしていただくというような形で進めていきたいと考えております。

下川教育委員：設計業者の選び方は随契でいくのか、入札するののかと、その契約時期はいつぐらいか。

平林学校教育課長：まず設計者の選定につきましては、競争入札で進めてまいります。発注につきましては、4月1日から執行が可能になりますので、5月の末には契約したいと考えております。

下川教育委員：11月の校務等調整委員会で、事務局案を説明し意見を聞いたりして、まとまった意見なり要望を、その5月の契約が終わった段階で業者にとりいう流れになるということか。

平林学校教育課長：設計の発注方法ですが、通常は基本設計と詳細設計、それぞれで契約をして参りますが、今回の改修に関しましては、詳細設計として発注をして、その中で意見を言うような形の基本的な部分を業務の中に取り入れて行うという形になります。

森教育委員：北部の小学校では4つのコンセプトがあって、とてもイメージが付きやすいですが、南部の小学校もこんなコンセプトがあってここにできますよっていうように保護者の皆さんがイメージできるようなものがあればいいなと思うのですが。

平林学校教育課長：北部の小学校は、プロポーザル方式ということで、このコンセプトが示されておりますが、今回、既存校舎の改修というこの方式でいきますと、そういうような形がとれないと思われれます。

中山教育長職務代理者：南小はちょっと段差がある設計になっていて、意外と教室が暗い印象があって、特に低学年とか新しい子供たちが入った時の教室の照明については、明るくするという必要になるかもしれないと感じております。

太田教育次長：照明は今度すべてLEDになります。また、改修中につきましても、管のみLEDに替えるなどして対応したいと思います。

中山教育長職務代理者：南小の交差点に垣根があって、見通しが悪いということがあるので、交通安全面でも対応をお願いしたい。せっかく南小の校舎を壊して建て替えるので、垣根のところもぜひお願いしたいと思う。

中村教育長：こちらの常盤・社地区の小学校については、まだ動いてない状況でして、事務局の方でも対応について考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。

下川教育委員：あり方検討委員会か何かの会議で、表現はちょっと違う表現だったかもしれませんが、学校の環境については、差をつけないでくださいというのがありましたので、それはやっぱり我々は尊重していかないといけないと思います。

中村教育長：小学校の再編については、よろしいですか。

それでは次に「全国学力・学習状況調査の結果と考察について」ということで、お願いします。

吉澤学校教育指導主事：「全国学力・学習状況調査の結果と考察について」資料により説明

中村教育長：大町市が校長のビジョンに基づく学校づくりや協働の学びに舵を切ったのが令和2年からです。

そこから5年経って、その時に大町市の子供たちの自己有用感がとても低いということが、結果的に出ていました。

それでこの取り組みをしてきたところ、「そう思う」というところが大分伸びてきているのが見て取れていると思われま

す。それでは、今の全国学力学習状況調査の結果についてで、ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

森教育委員：13ページのICTの活用状況ですが、効果的にICTを活用しているということでしょうか。

吉澤学校教育指導主事：結果からは、多く使用しているから効果が出ているという状況ではないと思われま

す。**下川教育委員：**英語の話すことが、一番できなかった部分だと思うが、システムは、子供たちは慣れてきたのか、採点は、どういう基準でやっているのか教えて欲しい。

吉澤学校教育指導主事：聞こえてくる音声に対して回答するというものは、今回が初めてであり、慣れているかないかという

と、慣れていないと思われる。また、採点については非常に細かく設定されていて、私自身もすべてを把握していませんが、全部あっている。半分あっているなど、程度によって採点の区分がされているようになっています。

下川教育委員：ああいうシステムでのテストはやはり事前の経験が必要ではないかと思えます。心配なのは、これで自分は何も言えなかったということで、英語が嫌いになるのは避けたいといけないのではないかと感じております。

吉澤学校教育指導主事：中学2年生の3学期の時に、一度それと同じシステムを経験しております。

中山教育長職務代理者：大町市は以前から調査などを結構やっているが、その結果を生かしながら、授業の指導に当たられているかというところは、少し課題があるのではないかと感じております。

授業を見せてもらえたとき、ICTなどの活用については、かなり習熟していると思うときもあるのですが、授業の活気だったりとか、或いは、昔あったような子供同士や先生との授業の中でのかけ合いなどが、今日ご学習は面白かったというような心に残る授業があったと思うのですが、今は、ちょっと大丈夫かなと思うことが時々あったりするの心配でもあります。

子供たちにこういう支援をすとか、そういったことはある程度出ているのですが、学習方法など、先生方への部分について指針が少し弱いのかなと感じております。

中村教育長：ありがとうございました。

それでは、その他の部分で、国民スポーツ大会について説明をお願いします。

牛越国スポ対策室長：国民スポーツ大会について、資料により説明

中村教育長：ありがとうございます。今後、県や各協会などと連携をとりながら、進めていきたいということです。

それでは次に、鳥羽奨学会の件についてお願いいたします。

太田教育次長：鳥羽奨学会理事会について、資料により説明

中村教育長：令和6年度の理事会を、説明がありました通り行いました。

協議事項は以上といたしますが、次に連絡事項をお願いします。

平林庶務係長：(1) 当面する日程について、説明

(2) 今後の教育委員会等の日程について

1月18日(木)午前10時より東大会議室にて開催で決定

(3) 第2回総合教育会議の開催について、説明

中村教育長：それでは、ここで議事についてご協議いただきたいと思いますが、職員の懲戒処分に関する案件ですので、非公開とするとともに、庶務係長を残して、事務局の皆さんはご退席ください。

議案第39号 教育委員会事務委局職員の懲戒処分について 非公開とする

中村教育長：では以上で、教育委員会の方を終了したいと思います。ありがとうございました。

《午後12時38分 終了》